

中部ハイスクールフォーラム 2022

事業報告書



【制作】
令和5年1月
三朝町教育委員会事務局社会教育課
(令和4年度担当町)

目次

1 事業概要	1ページ
2 事業実績	
(1) 参加及び来場等実績	3ページ
(2) プレゼン	
ア 倉吉東高等学校	4ページ
イ 倉吉西高等学校	4ページ
ウ 倉吉農業高等学校	5ページ
エ 倉吉総合産業高等学校	5ページ
オ 鳥取中央育英高等学校	6ページ
カ 湯梨浜学園高等学校	7ページ
キ 琴の浦高等特別支援学校	7ページ
(3) 意見交換	8ページ
(4) 足羽教育長総評	8ページ
3 アンケート結果	9ページ
4 その他取組	13ページ
5 所見及び今後の展望	14ページ
(資料1) 実施要項	16ページ
(資料2) 中部ハイスクールフォーラム 2022 動画視聴方法	18ページ

1 事業概要

本事業は、鳥取県中部地区の高校生が、地域課題の解決など主体的な取組を通じて学んだ成果又は地域と高校生の連携事業案等を発表、意見交換をする中で、高校生自ら又は高等学校と地域社会の新たな連携及び参画に繋がる契機とすることを目的に、中部地区各市町教育委員会等の主催により、毎年中部地区内で開催している。

従来、各校の発表内容についてテーマを設けていなかったが、今回は本事業の目的である「新たな連携及び参画に繋がる契機」の実現に向けて、『高校生の力で中部地区を元気にしよう!地域と高校生のコラボレーション』と題して高校生の地域参画・協働をテーマと位置付け、各校共通のテーマで研究・発表していただいた。

また、新型コロナウイルス感染症対策及びより多くの方に本事業に参加していただきたいという観点の基、昨年引き続きインターネットによる動画配信（ライブ及びアーカイブ配信）を行った。

(1)開催日

令和4年12月18日(日) 午後1時30分から午後4時30分まで

(2)場所

三朝町総合文化ホール(東伯郡三朝町大瀬999番地2)

(3)内容

ア 開会行事

主催者代表挨拶 東伯郡社会教育協議会 会長 手嶋俊樹

イ プレゼンテーション(以下「プレゼン」という)

- ・中部地区内高等学校6校によるプレゼン(研究発表)
- ・各校のプレゼンタイトルは別表のとおり
- ・倉吉北高等学校も参加予定であったが諸事情により当日欠席

ウ 意見交換

- ・コーディネーター 元倉吉西高等学校 PTA 会長 竹尾征二 氏
- ・プレゼンテーションで登壇した6校の生徒と来場者による、各校のプレゼンをテーマにした意見交換

エ 講評～閉会

鳥取県教育委員会 教育長 足羽英樹 氏

オ その他

会場2階ホワイエにて、琴の浦高等特別支援学校、湯梨浜学園高等学校、倉吉総合産業高等学校による展示発表

(4)その他

実施要項…資料I(16ページ)のとおり

【別記:各高等学校のプレゼンタイトル】

学校名	タイトル
倉吉東高等学校	リトリートしませんか？ ～現代人と鳥取のための新しい休暇のかたち～
倉吉西高等学校	湯梨浜町の移住者を増やそう!
倉吉農業高等学校	「災害用かまどベンチ」の活用
倉吉総合産業高等学校	地域で交流『くらそうサロン・くらそうや』
鳥取中央育英高等学校	PR 動画で地域の魅力を発信
湯梨浜学園高等学校	高校生が考えるこれからの地域社会における教育の在り方
琴の浦高等特別支援学校	地域に愛される学校をめざして(展示発表)
倉吉北高等学校	調理科と調理クラブの活動(発表予定タイトル)

2 事業実績

(1) 参加及び来場等実績

ア 参加高等学校

学校名 (参加予定校含む)	当日参加者数(人)		
	生徒	引率	計
倉吉東高等学校	2	2	4
倉吉西高等学校	2	1	3
倉吉農業高等学校	4	1	5
倉吉総合産業高等学校	3	1	4
鳥取中央育英高等学校	2	1	3
湯梨浜学園高等学校	3	1	4
倉吉北高等学校	※諸事情により欠席		
琴の浦高等特別支援学校	※展示発表の参加		
計	16	7	23

イ 来場者及び動画配信視聴者

区分	人数(人)
来場者(一般)	61
来場者(中学生)	20
関係者(行政等)	19
来場者小計	100
動画視聴(※)	230
計	330

(※) 令和4年12月23日 午後5時現在

ウ 参加者総計(ア+イ)

- ・ 353人
- ・ 来場者(高等学校除く) 100名(前年度報告書実績71名…29名増)
- ・ 動画視聴回数 230回(前年度報告書実績201回再生…29回増)

※ ただし、前年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、各高等学校の発表及び意見交換はオンライン開催であるため単純比較はできないことを申し添える。

(2) プレゼン

各高等学校のプレゼン内容及びこれに対する鳥取県教育委員会 足羽教育長によるコメント。

ア 倉吉東高等学校

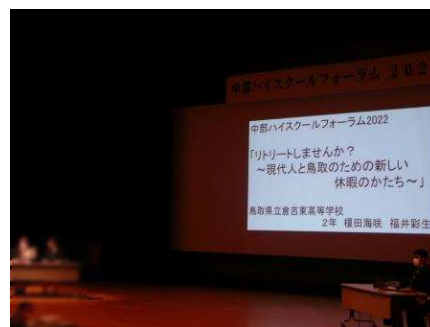
『リトリートしませんか?~現代人と鳥取のための新しい休暇のかたち~』

- ・持続可能な観光のあり方と、県外からの定住人口増加を目指すキーワードとして「リトリート(仕事や生活から離れた非日常的な場所で自分と向き合い、心と身体をリラックスさせるためにゆったりと時間を過ごす新しい旅のスタイル)」を提案。
- ・調査の結果、旅行者の多くがリフレッシュを求めているとの観点から働く世代の20~50代をターゲットに設定し、心身の健康を保つためには、日常から物理的に離れることが重要としリトリートがこれからの観光のキーワードになると考えた。
- ・まとめとして「既存の商業施設や宿泊施設と空き家活用をリンクさせる」ことを提言する。

【足羽教育長講評】

とても良かったのは問題意識を様々な角度からしっかり分析されていると同時に、実際に企業に向いて調査し、具体的な空き家利用という提案をされていることが非常に素晴らしかったと思います。

次は、予算的なこともあり実現できるかどうかは別としても、その空き家を有効活用するための具体策の実現に「自分たちに今出来ることは何か?」ということに一步踏み込んでいくと、より深まりが出てくるのではないかと感じました。



イ 倉吉西高等学校

『湯梨浜町の移住者を増やそう!』

- ・湯梨浜町の人口減少問題の解決案を提案し、湯梨浜町に活気をもたらすことを提案。
- ・移住者に人気の長野県の移住者政策と湯梨浜町の現状を比較研究し、「空き家をリノベーションして、SNSで発信」、「女性専用物件の移住場所を提供」について着目。
- ・まとめとして「湯梨浜町は魅力、ポテンシャルがあり情報発信、空き家などの活用推進」、「定住人口を増やすには交流人口が候補者となることから、より長い時間必要なアクティビティの提供」を提言する。

【足羽教育長講評】

発表をされた方の地元が湯梨浜町ということで、地元愛が非常に感じられる丁寧な調査の元に発表していただいたように思います。

足を運んで当事者や行政、地元の声拾い上げ「どのようにしたら移住促進が更に

可能になるだろうか」という課題意識を持っていらっしゃるということも、よく調べられていました。

(今後は、この課題解決に向けて)踏み込んでいただけたらなと思いました。

ウ 倉吉農業高等学校

『「災害用かまどベンチ」の活用』

- ・全国で災害が発生している中、倉吉農業高等学校では「災害用かまどベンチ」を製作。この活用や連携事業の取組について紹介。
- ・災害用かまどベンチとは、平常時にはベンチとして使用でき、災害時には座板を外し、炊き出し用のかまどとして使用できるものだが、これを普及させるための課題に対する今後の展開、県内の防災拠点に関する調査を行った。
- ・まとめとして、かまどとして使用する際の薪の調達やベンチとしての使用感という課題はあるものの、災害時には有効な設備であることから同ベンチの普及を提言。



【足羽教育長講評】

倉吉農業高校土木コースならではの発想に基づいた提言だったと思います。

県内のみならず全国で災害が多発している中、かまどベンチをどのように活用したら普及できるのかということで、意見交換でも挙がっていました「薪の調達」、「行政との接点」について、是非行政にPRしていくことを高校生の視点で売り込んでいくと、もっとかまどベンチの有効性が多くの方に広がっていくのではないかと思います。

非常に素晴らしい発想の基、かまどベンチが県内各地にあって、鳥取県の防災拠点ここにありということが言えるような取り組みとして広がっていけばいいなと思いました。

エ 倉吉総合産業高等学校

『地域で交流「くらそうサロン・くらそうや」』

- ・地元コミュニティセンターとの『くらそうサロン』や倉吉市観光スポットとの『チャレンジショップくらそうや』での地域交流研究を紹介。
- ・『チャレンジショップくらそうや』については、様々な出店経験から「商品説明がうまくできなかった」「コロナ禍により試食が出来ない」等の反省を踏まえ、動画による商品紹介を行った事例を紹介。
- ・『くらそうサロン』については、高齢者の方と交流を通じて、臨機応変な対応が出来るようになるために、高齢者に分かりやすいチラシの作り方、交流時における話し方等、

アンケートの結果を基にした対応の工夫、くらそうサロンの事業の流れ等を紹介。

【足羽教育長講評】

(くらそうやの取組における)動画 PR の工夫をしていくこと、非常に良かったと思います。

また、それぞれの取組の目的を達成していくために何が課題かということ、自分たちで取組みながら「こんな点が足りないね」「こんなことをもっとしていけばいいね」といった課題意識が深まっていくことで、改善点を考えていらっしゃるところに感銘しました。

即ちそれが何のための取組なのか…その目的を深掘していこうという姿勢。これが高校生としての探求の良さじゃないかなと思いました。

オ 鳥取中央育英高等学校

『PR 動画で地域の魅力を発信』

- ・地域に眠る宝を掘り起こし、YouTube を使って動画を配信し、鳥取県の関係人口増加に活かそうとする取組について紹介。
- ・琴浦町を活動拠点に、フィールドワークとして花見潟墓地、郷土史研究者の小谷恵造氏、船上山、河本家住宅を訪れ、各名所の理解をインプットし、それを動画としてアウトプットしている。



- ・まとめとして、「高校所在地の北栄町ホームページで観光地や施設の紹介が掲載されているが、これに動画があると閲覧者は更に詳しいイメージをつかみやすく、興味を持たれると考える。また、動画の作成は、町内の中高生や地域住民へ募集をしてはどうか」と提言。

【足羽教育長講評】

琴浦町から地域のニーズに応じてPR 動画、そしてフィールドワークをしていく中で問題意識がどんどん深まっていく。

船上山、重要文化財河本家住宅を調査・探究をすればするほど新たな課題…「何故なんだろう」「どうすればいいんだろう」ということが深まり、それを自分の問題として捉えている。そんな様子が伺える素晴らしい発表だったと思います。

カ 湯梨浜学園高等学校

『高校生が考えるこれからの地域社会における教育の在り方』

- ・高校生の地域貢献として『教育』に着目し、高校生による子ども達への学習支援ができないか、高校生の視点で提案。
- ・実際に、高校生が中学生に勉強を教える「勉強会」を試行した上で、「参加率は高くない」「参加者の一人一人の異なるニーズに応える難しさ」という課題はあったものの、高校生は十分中学生に勉強を教えることができ、中学生も高校生も想像以上に楽しむことができたという成果を得た。
- ・まとめとして、高校生が主体となって運営する「勉強会」を主とした小中学生のための交流の場やサービスを設けることを提言。



【足羽教育長講評】

SDGs に直結する非常に面白い視点で、高校生が小中学生に学びを伝えること。これが循環して子ども達の育成に繋がっていく。

子ども達同士のコミュニケーションや一体感、そういう活動が出来ていくと、大人はもちろん周囲が放っておかないと思います。「鳥取の子ども達を鳥取の子ども達で育てたい」、そういう想いがどんどん広がっていく。いい仕掛けだなと思いました。

鳥取県教育委員会では校種ごとの学びだけではなく、小学生から中学生、高校生、更には大学生になっても学びの一貫性を大事にしていく「ふるさとキャリア教育」を進めています。是非、この中にも組み込んでいきたいと思いました。

キ 琴の浦高等特別支援学校

『地域に愛される学校をめざして』(展示発表)

- ・地域の皆さんの協力のもと、地域に出向きながら働く力をつける取り組みを紹介。



(3) 意見交換

- ・元倉吉西高等学校 PTA 会長 竹尾征二氏をコーディネーターに迎え、各校のプレゼン内容を基にプレゼンに登壇した生徒と来場者による意見交換を行った。
- ・地域の方々から各校に質問されただけでなく、プレゼンで課題として発表されたことに対する解決案や助言等、様々な意見が出された。
- ・また、中学生からの質問も多く、高校生のプレゼン内容に対して深い興味を感じられていたように見受けられた。

(4) 足羽教育長総評

第1回目から欠かさず参加している私としては、年々発表のレベルというよりも、高校生皆さんの意識の高まりを非常に感じており、今回更にそれを感じたハイスクールフォーラムであったと思います。

私は常々「何を言うか」ではなく「どのように言うか」、つまり正解を言えばそれでお終いではなく、相手に伝わったり巻き込んだりするような伝え方が大事だと思っています。

そして「何をするか」ではなく「どのようにするか」それぞれの地域の課題に応じて、課題解決に向けてどのように工夫すればその課題が解決できるのか。「何かをしました」で終わりではなく「どのようにしてくか」という過程を大事にする。「どのように言うか」「どのようにするか」、このことを深掘していくことが大切だと思います。

そういう意味で高校生のみなさんの発表を聞いた中学生のみなさんからたくさんの質問もいただきましたが、こうした中学生みなさんの学びの延長上に高校生のみなさんのこのような姿があります。中部の高校でこんなに光り輝いている高校生の取組があります。是非これからの進路目標の実現に向けた参考にしていただけるとありがたいと思います。

来年、再来年はここにいる中学生のみなさんが、このステージに上がっていることを期待します。



(4) その他

本フォーラムの様子は、動画配信サイト YouTube で視聴することができる(アドレスを知る者以外視聴できない限定公開設定)。

動画の視聴方法は資料2(18 ページ)のとおり

3 アンケート結果

来場者及びインターネット配信視聴者に対しアンケートを実施したところ、用紙及びインターネット(Google Form)により、総計 79 回答を得た。

特に【問4】フォーラムの満足度において、「とても満足」、「満足」と回答いただいた割合が 83%と概ね参加者の満足度が高い結果となった。

【問1】あなたの所属

	回答	回答数	割合
①	中高生(保護者含む)	32	41%
②	学校関係者	19	24%
③	行政関係者	11	14%
④	地域住民	14	18%
⑤	その他	3	4%
⑥	無回答	0	0%

【問2】どちらからお越しになりましたか

	回答	回答数	割合
①	倉吉市	47	59%
②	三朝町	4	5%
③	湯梨浜町	10	13%
④	北栄町	11	14%
⑤	琴浦町	5	6%
⑥	その他	2	3%
⑦	無回答	0	0%

【問3】フォーラムに参加されたきっかけ

	回答	回答数	割合
①	チラシ	18	23%
②	ホームページ	3	4%
③	くらら	3	4%
④	ケーブルテレビ	1	1%
⑤	知人に誘われて	19	24%
⑥	その他	31	39%
⑦	無回答	4	5%

【その他内容】

- 高校生の発表を聞いて、いい学校にできる参考にしたいと思ったから
- 子どもが参加するため ○ 毎年参加しているから ○ 発表を見たいから
- 教育委員会からの案内 ○ 生徒会として参加 ○ 子どもから誘われて
- くらそうサロンで生徒からの誘い ○ 職場で案内 ○ 学校、先生に言われて

【問4】フォーラムの満足度

	回答	回答数	割合
①	とても満足(5)	32	41%
②	満足(4)	33	42%
③	普通(3)	8	10%
④	やや不満(2)	3	4%
⑤	不満(1)	1	1%
⑥	無回答	2	3%

【問5】満足度の理由(複数回答可)

	回答	回答数
①	各高等学校の活動を学ぶことができたから	51
②	高校生の活躍する姿が見られたから	42
③	高校生同士の意見交換がよかったから	18
④	展示がよかったから	3
⑤	出店がよかったから	0
⑥	その他	10
⑦	無回答	4

【その他内容】

- 高校生が中部の未来をしっかり考えてくれる姿を見られて良かったです。
- コミュニケーション能力は日々の積み重ねと良き大人の協力だと思った。
- 提案型で考え方を伝えられていたから。
- 高校生の参加が多くなれば良いと感じる。考えていたことが実践されることがあればよいと感じる。
- 大人と関わる事ができた。しかもランダムに向こうから言ってくれたから。
- 動画の作成などを使ってくれたので分かりやすく見られた。
- 高校生の発表内容が良かったから

- 高校生の本気の熱意が伝わった。YouTube で見返すと涙が出てきた。そのくらいのもので感じた。大人が建前ではなく、本気でプレゼンに対して突っ込んで質問をしていた事にも感動。

【問6】その他、本日のフォーラムの内容や進め方への提案や、高等学校へのメッセージ、フォーラム全体を通じて感じられたことなど。(抜粋)

- 普段接することのない高校生の活躍する姿が見られて良かった。参考になるところがあったので、仕事にも活かしていきたい。
- 探究→発表→大人の意見→更に分析 と繋げていただけると、学びが深まると思います。
- 高校生の提案に対して、中学生が質問をしたり、地域の方がアドバイスをしたり出来るのが魅力だと感じました。中・高・地域の接点として貴重な機会ですので、今後も楽しみにしています。
- 高校生の生き生きとした姿、溢れるエネルギーを感じる良い機会となりました。ありがとうございました。
- 高校生1人1人が中部に対し、課題、良さ、自分たちに出来ることを見つけ、主体的に取り組む姿はとてもよかったです。ぜひ、この先も続けてほしいです。
- どの高校も深く調べられていて良かったです。今回の発表をそのまま終わらせるのではなく、更に改良させていく。そして、行動に移してってください。トライ&エラーの精神で。
- 中学生の参加と質問に好感を持った。
- YouTube での視聴でしたが、映像を共有機能で配信してあり読みやすかったです。また、YouTube ならでは、興味があった箇所をすぐに見直せて良かったです。
- 高校生の皆さんがより良い社会を目指して積極的に取り組んでおられる姿を見ることができ、元気を頂きました。この取り組みを大人たちがつなげ、広げていくことが大切だと思いました。コロナや、積雪の不安のため、リモートを選択したため、やはり、会場での臨場感や発表者の熱い想いが伝わりにくく、せっかくの高校生の「生の声」が聞けたのに…会場にいけばよかった…と、少し、後悔しました。
- 発表はどこもある程度完成されたものであったが、質問に対する返答力、柔軟性は個人差が大きかった。日頃からこのようなディスカッションをしているかどうかで対応力がつくと思う。この力を授業等で育成してほしいです。

- 全体的に高校生の参加が少ない。ハイスクールフォーラムになっていない。高校生同士の議論が活かされていない。
- スポット的な企画とならず、年間を通じたものになればと思います。
- YouTube のコメントでも質問を受け付けたいと思う。
- 生徒達がいろいろ勉強し、有意義な考え・体験・成長に感心した。よい話をたくさん聞くことが出来た。ただ、質問された時の回答がうまく出来ない場合が多かった。予め予想される質問をある程度考え、答えを準備できていればよかったと思う。
- この動画を公開し続け、来年度の生徒の参考動画とし、ステップアップしたプレゼンを目指すべき。

4 その他取組

(1) 事前広報

今フォーラムは高校生の地域参画・協働をテーマとしたことから、多くの地域住民に参加を促すべく、各種手段で本事業の事前周知を図った。

ア 地域情報誌「くらら」への広告掲載

鳥取県中部地区で無料配布されている地域情報誌「くらら」に本事業開催に係る広告を掲載した。

イ ケーブルテレビによる告知放送

倉吉市・三朝町を放送エリアとする日本海ケーブルネットワーク(NCN)、湯梨浜町・北栄町・琴浦町を放送エリアとする鳥取中央有線放送(TCC)に本事業の告知放送を実施していただいた。

放送された映像は、各参加校に協力をいただき、各市町社会教育担当者が実際にプレゼンを行う生徒に1分程度プレゼン内容を紹介してもらった映像を撮影又は直接ケーブルテレビ社に取材いただき、その映像素材を各ケーブルテレビで編集、放送していただく方式を採った。

【参考：地域情報誌「くらら」の掲載状況】



(2) 参加者による感想を示す「うちわ」の利用

プレゼンを行う高校生が、プレゼンを聞いた参加者の反応をダイレクトに視認できるように「いいね」と「もっと聴かせて」の2種類の絵が描かれた「うちわ」を作成し、参加者に配布した。

各校のプレゼン後、参加者に感想としてこれを示していただくことで、会場に一体感が生まれ、文字通り本事業に「参加」していただく意識を持っていただけたと考える。



(3) 高校生のプレゼンに対する地域とのマッチング

高校生が提案したプレゼン(事業案)に対し、実際に地域で実施することができるようアンケート欄に事業を共同実施又は事業への協力を希望する参加者への連絡先欄を設けた。

上記アンケート欄の他、直接参加高校生に会場内でコンタクトを取られた方など、数件の問い合わせ等があった。

このことから、今回のプレゼンが次の展開に繋がるきっかけになることが出来たと考える。

5 所見及び今後の展望

今年度は「高校生の地域参画・協働」をテーマに掲げたことで、各校のプレゼンテーマがこれに即したものであった事からフォーラムの内容に統一感及び会場の一体感があつた。

また、参加者も高校生に質問するだけでなく、意見や助言を積極的に発言されていた場面も多々あり、参加者が真剣に高校生の提言を受け止め、それに応えようとする様子も見受けられた。

これも参加していただいた高校生の丁寧な研究及び考察によるクオリティーの高いプレゼンと「地域を盛り上げたい」という強い気持ちを参加者が感じ取っていただいたことによるものと推察する。

これをきっかけに中部地区各地域において将来を担う高校生だけでなく鳥取看護・短期大学や中学校等の学生・生徒が地域で活躍できる場を大人が創出し応援できる社会となる機運が高まるよう行政・地域・学校が連携して活動していく必要があると考える。

その反面、意見交換においては会場の広さや大人数でのディスカッションという通常とは異なるシチュエーションにより、意見やそれに対する回答に高校生が多少困惑する場面

も見受けられた。

これは、主催者が意見交換の進め方や準備等を高校生に予め説明しきれていなかった面があり、主催者として大きな反省点であった。

今後の展望として、本フォーラムを単発の事業とするのではなく、いかに高校生の提言を地域が受け止めるか、発展させていくかという事も本事業の大きな役割であると考え

る。そのため、各市町教育委員会だけではなく、地域や団体といかに連携して本事業を発展・継続させていくかということにも取り組んでいきたいと考える。

今フォーラムに参加いただいた鳥取短期大学の教授から、本事業に対して短大生との合同事業に関する提案もいただいた。

本件については、中部地区社会教育担当者と鳥取看護・短期大学との意見交換を3月に開催予定であり、本事業をより効果的なものとするため現在の手法に囚われず、時代や地域ニーズ、そして何より高校生の想いに即したものに発展できるよう努めていきたい。

結びに、本事業に参加いただいた中部地区各高等学校、講評をいただいた鳥取県教育委員会 足羽英樹教育長様、コーディネーターを務めていただいた竹尾征二様、そして会場やインターネットで参加いただいた全ての皆様に厚く御礼を申し上げますとともに、今後も本事業への御協力、御参加をいただきますようお願い申し上げます。

(文責)

中部ハイスクールフォーラム 2022 事務局担当
三朝町教育委員会事務局 社会教育課

中部地区社会教育関係者研修会 兼 中部地区生涯学習実践研究交流会
中部ハイスクールフォーラム2022 実施要項

1 目的

鳥取県中部地区の高校生が、地域課題の解決など主体的な取組を通じて学んだ成果又は地域と高校生の連携事業案等を発表、意見交換をする中で、高校生自ら又は高等学校と地域社会の新たな連携及び参画に繋がる契機とする。

【今年度の事業趣旨】

- 本事業の目的である「新たな連携及び参画に繋がる契機」の実現に向けて、『高校生の力で中部地区を元気にしよう!地域と高校生のコラボレーション』と題して高校生の地域参画・協働をテーマとする。
- 参加する高校生同士の議論を深めるフォーラムとするために各校共通のテーマで研究・発表する。
- また、高校生の力で「地域を元気づけるプロジェクト」を地域、行政が一体となって実現できるよう各世代間で意見交換ができる機会を創出する。

2 主催

- ・鳥取県社会教育協議会
- ・東伯郡社会教育協議会
- ・中部地区各市町教育委員会

3 日時

令和4年12月18日(日) 午後1時30分から午後4時30分まで(予定)

4 会場

三朝町総合文化ホール(東伯郡三朝町大瀬999番地2)

5 テーマ

『高校生の力で中部地区を元気にしよう! 地域と高校生のコラボレーション』

- (1) 地域探究、総合学習の活動において地域と連携して得た成果や今後期待される効果。
- (2) 地域と高校生と一緒に活動することで地域の活性化を目指す新プロジェクトの提案。
- (3) 高校生が主体となって、地域で活動してみたいこと。

など、高校生と地域が一体となって活動した実績や提案を各校で発表し、その後参加高校の発表者同士で意見交換を行う。

6 主な内容

(1) プレゼンテーション

- ・テーマに沿った各校の研究発表及び事業提案。
- ・1校につき10分程度。
- ・プレゼンテーションソフト、ホワイトボード、寸劇など表現方法は自由。

(2) パネルディスカッション

- ・コーディネーター(1名)、パネリスト(参加高校発表者)で、各校のプレゼンテーションについて意見交換。
- ・各校のプレゼンテーションの感想、質問、意見、提案など。
- ・観覧者(一般参加者、中学生等)との意見交換。

(3) 展示発表

- ・テーマに沿った各校の研究発表及び事業提案を展示形式で発表する。
- ・展示方法は、模造紙2枚以内又は動画(10分以内)とする。
- ・展示発表のみの参加も可とする。

(4) ブース出店

- ・会場内で研究や活動の成果品を販売する。
- ・例:グッズ、野菜、調理品(保健所の許可を得たものに限る)
- ・ブース出店のみの参加も可とする。

7 参加対象者

参加自由とするが、特に次の団体、関係者に積極的な参加を呼び掛ける。

- (1) 中部地区内高校生
- (2) // 中学生
- (3) 中高生生徒保護者
- (4) 社会教育関係者(社会教育委員、学校運営協議会関係 等)
- (5) 地域で活動している団体等
- (6) その他、参加校が希望する団体(例:農業関係の発表の場合、JA関係者や農家など)

8 その他

- ・フォーラム及び展示内容をインターネットでライブ配信する(1ヵ月程度YouTube限定公開でアーカイブ配信予定)。
- ・新型コロナウイルス感染症の状況により、開催方法等を変更する場合がある。

中部ハイスクールフォーラム2022 動画視聴方法

1 QRコードから動画リンクにアクセス(YouTubeへ直接アクセス)



2 三朝町ホームページから検索(三朝町ホームページからYouTubeへリンク)

- (1) 「三朝町 ハイスクールフォーラム」で検索
- (2) 「中部ハイスクールフォーラム2022」動画配信情報をクリック
- (3) ページ内に示されているYouTubeへのリンクをクリック

3 インターネットブラウザのアドレスバーにURLを直接入力(YouTubeへ直接アクセス)

<https://www.youtube.com/watch?v=5At9JW6w5rY>

【参考:YouTube 動画タイムライン(動画総時間 3:16:05)】

開会	18:06
倉吉東高校プレゼン	26:37
倉吉西高校プレゼン	42:09
倉吉農業高校プレゼン	57:06
倉吉総合産業高校プレゼン	1:11:55
鳥取中央育英高校プレゼン	1:27:28
湯梨浜学園プレゼン	1:41:54
意見交換	2:07:28
足羽鳥取県教育長講評	3:05:07